



10月 いちごぐみだより

2023年 10月2日

末長こぐま保育園

朝夕は少しずつ涼しくなり秋の訪れを感じます。戸外で身体を動かすには良い季節となりました。葉っぱの色付きやどんぐり拾いなど秋の自然は楽しい変化がいっぱいです。散歩車に乗ったり、保育者と手を繋いで歩いたりしながら戸外での活動を取り入れ、季節の移り変わりを子どもたちと感じていけたらと思います。



♪体操を楽しんでいます

毎日「できるかな」の曲を流しています。最初は保育者が体操を始めても「何をやっているのかな」と見ていました。今は一緒に体操をする子が少しずつ増えてきました。

「君はできるかな・・・」のところでは指差ししながらリズムをとっている姿はとても可愛いです。保育者が踊っていると、一緒に身体を揺らしたり、手を叩いてみたりしながら体操を楽しむ姿が増えました。

今後も体操を行いながら、身体を動かす楽しさを感じてもらえたらいいなと思います。

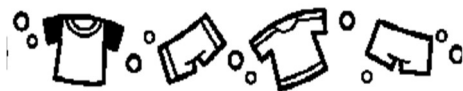
砂って…不思議！

乾いた砂、湿った砂、泥状の砂、同じ砂でも毎日感触が違うところが砂遊びの一番の魅力です。

最初は保育者が作ったお団子や型抜きを崩して楽しめます。「触ってみたら、形が変わる」というのは経験のある大人は当たり前のことですが、子どもにとっては面白い発見があります。

崩す→作ってもらう→また崩すというやり取りの中で「作って！」とアピールすることを覚えたり、自分がしたことを見てもらっているという充実感を味わいます。

園庭での活動を通して、子どもたちに寄り添いながら砂遊びを楽しんでいきたいと思っています。



薄着で過ごそう！



着替えは半袖メインでご用意ください。また、長袖は薄手のものをお持ちください。

子どもは皮膚感覚を刺激されて育ちます。外気温を肌で感じることで体温を調整する力や体内の水分を逃がさないようにする力が育っていきます。

身体機能も発達途上の子ども達は厚着になると動きづらく、転倒したときに手で身体が支えられずに思ぬ怪我を引き起こすこともあります。

子どもの服装は大人より一枚少なくするというのを目安に調整してあげてください。

また、手足が冷たいと感じても手足の付け根や体幹が温かければ寒くはないということなので触って確かめてみてください。登降園時に肌寒いようでしたら半袖の上に薄手の上着やトレーナーを着用し、園に着いたら一枚脱ぐのも良いですね♪